

海のまち、下田

下田市立下田小学校 六年 小宮 野乃子

「下田ってめっちゃ海近い！」

五年生になる時に九州の佐賀から引っこしてきた私は思いました。引っこす前は、佐賀の山の方の田なかに住んでいたため、海が歩いていけるきょりにある下田はすごくいいな、すごいな、と思いました。

下田には良いところ、自まんでできるところが本当にたくさんあります。ペリー来航、開国の町であることや、黒船祭、水仙まつりがあり、夏以外にもお祭りがあってとても楽しいです。

また、夏や祭りの時などに下田におとずれる観光客、外国人の方々に親切に接している、親しく接している人が多く、それはとてもよいところだと思います。

下田の海はとう明度が高く、砂浜も白くてとてもきれいです。それに、魚、イカ、エビ、ウニ、貝、カニなど数えきれないほどの、たくさんの生き物を見ることがもできます。伊豆週辺の海には約一七〇〇種以上の生物が生息しているそうです。下田の浜にはウミガメも来るのを知って私はおどろきました。

下田に来て、下田の美しい海に入り、海についてもっと知って、海をもっと好きになることができました。下田は、自然が美しく、行事もたくさんあり、人がらも良く、とてもいい町です。なので私の考える未来の下田は、自然が身近にたくさんあり、そこにはたくさんの生き物が住んでいて、黒船祭などの下田特有の行事があり、人も親切な今のままの下田です。

私は未来になっても、下田の海がきれいで生き物がいっぱいいて、ウミガメがくる場所であってほしいと思います。でも今、環境汚染などの問題で、私たちが今のままだと未来まで今のままの下田が残っているか分からないと思います。しかもこれは地球規模の問題なので下田だけが、例えば、ゴミ拾いなど海をきれいにしようがんばっても、海はつながっていて一つなので、他の県や、外国からゴミが流れてきてしまいます。

観光地である下田で呼びかけをすれば、さまざまな場所から、下田におとずれた方々が、海や自然について考えるきっかけとなれるかもしれないと私は考えます。

私は、未来の下田まで、美しい海とたくさんの生き物たちが残ってほしいので、ゴミ拾いをしたり、海についてもっと調べたりしたいです。